

## 機関紙「資料館だより2013年 秋号」を発行しました

このたび、資料館での出来事や活動状況、各種のお知らせ情報などを凝縮してお伝えする「資料館だより2013年 秋号」を発行しました。

秋号では、平成25年4月以降の資料館の動きを紹介。

開館1周年を迎え、これまでに資料館を来館された方々から寄せられた疑問・質問に、館長がわかりやすく解説した「イタイイタイ病Q&A」など「開館1周年記念特別企画事業」として、初めて開催した企画展のほか、親子を対象とした夏休みイベント「自由研究講座」・「日帰りバスツアー」の実施状況などをお伝えしています。このほか、国内外から来館された若者たちへの伝承や四大公害病の資料館の連携事業など、公害被害やその教訓を後世に活かす取組みについてもご案内しています。

この「資料館だより」は、年間2回（春・秋）発行しており、公立図書館等でご覧いただけるほか、資料館のホームページからも閲覧できます。

「資料館ホームページ」(URL <http://itaitai-dis.jp>)



## 史上初、四大公害病の教訓を活かす、「語り部による伝承会」を開催

9月28日（土）、四大公害病の語り部がイタイイタイ病資料館に集まり、公害被害と教訓を後世に語り継ぐ「伝承会」を開催しました。4地域の語り部が一堂に会するのは今回が初めてで、全国から参加した約120名を前に水俣市立水俣病資料館の川本愛一郎さん、新潟県立環境と人間のふれあい館の山田サチ子さん、三重県四日市市の野田之一さんと澤井余志郎さん、イタイイタイ病資料館の若林カズ子さんが講話を行いました。経済発展や産業振興優先の政策により環境破壊をもたらし、日本の各地で甚大な被害を発生させた「公害」。今回、日本の四大公害病について、本人や家族の体験談をもとにリレー形式で講話していただき、その被害の実態と克服してきた歴史について学びました。

後半は、イタイイタイ病対策協議会の高木会長や会場の方々にも参加いただき、「公害の教訓を語り伝えるために」と題した意見交換も実施。公害の発生から年数が経過し、風化を防ぐためにも教訓を未来へ伝える大切さなどが話し合われました。今後とも、①公害を知らない子どもたちを中心とした若い世代への積極的な伝承、②実体験を直接語り伝える「語り部講話」のさらなる充実のため、四館が連携し、交流を進めていくことなどが確認されました。

